

令和3年度宮城県キャリアパス支援事業研修概要

1. 受講対象及び目的

(1)基礎研修…対象：おおよそ3年未満の初任者用研修

①【無資格者向け研修】No.1～10

※No.7「認知症介護基礎研修」はR3年度より必修研修該当

②【無資格者～初任者研修修了者向け研修】No.1～10

▷目的

ひとの生命（いのち）と生活に関わる介護の仕事を理解し、実践のための態度や基礎的知識・技術を身につけることを目的とする。介護職としての土台作りとなる研修である。

(2)基本研修…中堅職員、リーダー養成研修 No.11～17

(3)専門研修…中堅職員、リーダー養成研修 No.18～21

※【実務者研修修了者、介護福祉士対象】No.11～25

▷目的

介護の基礎的理解と実践を踏まえて、先輩として、また介護チームの中核を担うリーダーとして成長、育成を目指す研修であり、単に自身が実践できるだけでなくチームのメンバーや後進とともに介護実践できることを目的とする。

(4)在宅・専門研修（対象：実務者研修修了者、介護福祉士等）No.22～25

▷目的 訪問介護におけるサービス提供責任者としての必要な知識と技術を習得する。

2. 研修日程・研修内容・めあて

No.1 介護の基本①～接遇～

講師：クオリティアプローチ㈱ 代表取締役 小藤 弓 氏

A日程： 8月 3日（火）10時～12時 仙台医療秘書福祉専門学校

①形式：講義・演習（2時間）

②めあて：対人援助をおこなう介護サービス従事者としての接遇の基本を学び、身につける。

③主な内容

- 1) あいさつの交わり方
- 2) 接遇の理解
- 3) 初対面の重要性
- 4) 接遇の基本

No.1-2 介護の基本②～介護技術～

講師：宮城県理学療法士会

①形式：講義・演習（3時間） 途中休憩あり ※上履き（スニーカー等）動きやすい服装

A日程： 8月 3日（水）13時～16時 仙台医療秘書福祉専門学校 2階介護実習室

B日程：12月 22日（水）13時～16時 特別養護老人ホーム第二日就苑

②めあて：からだのしくみを理解し利用者との信頼関係を踏まえて、安全で安楽な介助の基本を習得できることを目的とする。

③主な内容

- 1) 尊厳ある介護と自立支援のために（講義）
- 2) からだのしくみと使い方（講義・演習）
- 3) 身体介護の基本（講義・演習）

No.2 制度の理解と尊厳ある介護実践① ※②に続く

講師：宮城県介護福祉士会

A日程： 8月26日（火）13時～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター6F

B日程： 10月8日（金）13時～16時30分 気仙沼中央公民館 会議室3・4

オンライン：12月15日（水）13時30分～16時30分

①形式：講義（3時間30分）途中休憩あり

※オンライン研修は3時間予定

②めあて：介護の仕事（対人援助）を理解するとともに、職業倫理を踏まえての実践の在り方を習得。また、自立支援を根幹となす介護保険制度はじめ関係法令等の解説と介護専門職の専門性と役割を理解し実践できることを目的とする。

③主な内容

- 1) ひとの生命（いのち）と生活に関わる仕事
- 2) 支援の目的と援助者の役割と責務
- 3) 介護保険制度の基礎的理解

No.3 制度の理解と尊厳ある介護実践②

講師：宮城県介護福祉士会

A日程： 8月17日（火）13時～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター6F

B日程： 9月29日（水）13時～16時30分 大河原町 オーガ イベントホール

オンライン：令和4年1月7日（金）13時30分～16時30分

①形式：講義・演習（3時間30分）途中休憩あり

※オンライン研修は3時間予定

②めあて：尊厳ある介護実践のために必要な自立支援の理解と身体拘束禁止について学ぶ。介護は単なる作業ではなく、ひとを相手にするケアであること。利用者が生活の主体者であり、人生の主人公であることを理解し実践することにより、QOL（生活の質）が高められていくことを理解し実践できることを目的とする。

③主な内容

- 1) 身体拘束と介護

- 2) 自立支援～ I C F (国際生活機能分類) から考える～
- 3) 事例から考える倫理的実践

No.4 利用者理解とコミュニケーション

講師：宮城県介護福祉士会

A 日程 8月24日(火) 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

B 日程 9月10日(金) 10時～16時 石巻市 ビッグバン 視聴覚室

- ①形式：講義・演習(5時間) 昼食休憩及び途中休憩あり
- ②めあて：介護支援の基本となるコミュニケーションの基本的理解、対人援助技術を身に付け適切なケアが実践できることを目指し、尊厳ある介護を実現していくことを目的とする。
- ③主な内容
 - 1) 講義 コミュニケーションの意義・目的
 - 2) 講義・演習 コミュニケーションの実際
 - 3) 講義・演習 利用者理解と介護支援

No.5 他職種の理解と連携

講師：特別養護老人ホームまほろばの里たいわ 施設長 高橋 泰徳 氏

A 日程： 8月31日(火) 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

オンライン： 1月25日(火) 及び 2月 8日(火) 13時30分～16時

※対面研修5時間分を2回に分けて講義・演習(グループワーク)を行います。

オンライン希望の場合は、原則として両日の受講をお願いいたします。

- ①形式：講義・演習(グループワーク)(5時間) 昼休憩(60分)、途中休憩あり
- ②めあて：利用者の生活を継続していくためには、介護チームで支援していくことが必要である。本研修では、介護チームの理解とともに、介護職以外の他職種を理解し、利用者を中心とした関わる職種との連携・協働を学び実践できることを目的とする。
- ③主な内容
 - 1) 連携と協働の意義・目的
 - 2) 介護チームの理解～リーダーシップとフォロワーシップ～
 - 3) 他職種の理解
 - 4) 事例から学ぶ連携と協働

No.6 記録の要点とチームケア

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 雫石 理枝 氏

A 日程： 9月 7日(火) 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6階

B 日程： 12月 10日(金) 10時～16時 石巻市 ビッグバン 視聴覚室

- ①形式：講義・演習(グループワーク)(5時間) 昼休憩(60分)、途中休憩あり
- ②めあて：行為である介護は、「かたちがない、分けることができない、品質が変わる、ため

ておくことができない」ヒューマンサービスである。ケアの証等として、チームケアを実践するために、記録の意義・目的を確認するとともに、記録の要点を学ぶ。記録が介護実践にどう展開されるのか演習を通してチームケアを実践できることを目的とする。

③主な内容

- 1) 記録の意義・目的（講義）
- 2) 記録の要点と書き方の基本（講義・演習）
- 3) ケア記録と介護支援（講義・演習）

No.7 認知症介護基礎研修※有料

講師：特別養護老人ホームまほろばの里向山 施設長 松野 一江 氏

※本研修は「介護の基本」「利用者理解とコミュニケーション」など基礎研修と合わせて受講ください。原則として単体での受講はお控えください。

①A 日程：9月14日（火）10時00分～17時00分 仙台市市民活動サポートセンター6階

②B 日程：10月13日（水）9時45分～16時45分 気仙沼市市民会館第一会議室

●めあて：認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を修得するための研修を実施し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることをねらいとする。また、令和3年度の介護報酬改定では各サービスの運営基準が見直され、無資格の介護職員全てに「認知症介護基礎研修」の受講が義務付けられることになっている研修である。

※本研修は、キャリアパス支援事業研修受講記録とは別に、後日に修了証書を交付します。

●主な内容

時間	内容
9：30～	受付開始（入室開始9：45～）
9：55～10：00	研修の目的と目標（オリエンテーション）
10：00～12：00	【講義】 認知症の人の理解と対応の基本（1） 1 認知症の人を取り巻く現状 2 具体的なケアを提供する時の判断基準となる考え方
13：00～17：00	【講義】 認知症の人の理解と対応の基本（2） 3. 認知症の人を理解するために必要な基礎的な知識 【演習】 認知症ケアの実践上の留意点 4 チームケアの観点を含めた基礎的な認知症ケアの方法、家族への支援方法

No.8 介護現場における医学的基礎知識①

講師：保健師・看護師 野中 栄子 氏

A 日程： 9月17日（金）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

B 日程： 11月17日（水）10時～16時 栗原市市民活動支援センター多目的室

オンラインは全2日間で2回続きの研修となります。

令和4年1月22日(土)13時30分～16時(2時間30分)

令和4年2月5日(土)13時30分～16時(2時間30分)

①形式：対面研修 講義・演習(5時間) 途中休憩あり

オンライン研修 講義(1回2.5時間、合計5時間)

②めあて：利用者の生命(いのち)と生活に関わる介護支援を行う上で、高齢者の特性や疾病を理解し、実践のための基礎的知識を身につけることを目的とする。

③主な内容

- 1) 観察・支援の意義と目的
- 2) 高齢者の特性
- 3) 高齢者に多い疾病の理解
- 4) 支援の要点と医療連携

No.9 介護現場における医学的基礎知識②

午前は薬の知識と服薬支援、午後は感染症の基礎的理解と感染対策の実際

講師：①宮城県薬剤師会

②認定看護師

A日程：11月26日(金)10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

オンライン：令和4年1月12日(水)13時30分～16時30分(3時間)

※対面研修は午前・午後のみ受講可

①形式：講義・演習(5時間) 昼食休憩及び途中休憩あり

オンライン 講義「薬の知識と服薬支援」(3時間)

②めあて：感染症の基礎的理解と感染対策の実際を学び、介護職としての基礎的知識及び技術を身につけることを目的とする。

③主な内容

A：薬の知識と服薬支援(対面研修2時間)

- 1) 薬の基礎的理解(講義)
- 2) 服薬方法と介護支援の要点(講義)

B：感染症の基礎的理解と感染対策の実際(対面研修3時間)

- 1) 感染症の基礎的理解(講義)
- 2) 感染対策の実際(演習)
 - ・手洗い
 - ・防護具等の着脱
 - ・汚染物の処理と対応

No.10 介護過程の展開 I—①②

講師：宮城県介護福祉士会

本研修は、全2日間の2回続きの研修です。仙台市市民活動サポートセンター6F

1日目：8月20日（金）10時～16時30分（対面研修5時間30分）

2日目：9月3日（金）10時～16時30分（対面研修5時間30分）

①形式：講義・演習（合計11時間）昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：尊厳ある介護と自立支援を行う上で、根拠ある実践が介護専門職として必要である。本研修は、支援がコツや勘にたよるものではなく、なぜその介護が必要なのかという根拠を示すことの必要性を理解し、利用者本位の適切な支援をするための理論や知識・技術を身につけることを目的とする。

③主な内容

1日目：介護過程の基礎的理解（講義・演習）

- 1) 介護過程の意義と目的
- 2) 介護過程の具体的な展開
- 3) 介護過程の実際（事例検討）

2日目：個別援助計画の立案とチームケア（講義・演習）

- 1) 介護支援と個別援助計画の理解
- 2) 個別援助計画作成の実際
- 3) 利用者支援とチームアプローチの視点

No.11 医学的知識とフィジカルアセスメント

講師：保健師・看護師 野中 栄子 氏

A日程：10月29日（金）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

B日程：9月22日（水）10時～16時 大河原町 オーガ イベントホール

①形式：講義・演習（5時間）昼休憩及び途中休憩あり

②めあて：介護支援に必要な医学的知識を踏まえ、利用者のQOL（生活の質）を高める支援に結びつけていくことが肝要であり、そのための観察視点やアセスメント能力を身に付けることが必要となる。本研修は、利用者のフィジカルアセスメントを行う上での視点や知識を学び、適切な他職種連携を図ることができることを目的とする。

③主な内容

- 1) 利用者支援とフィジカルアセスメントの意義・目的
- 2) フィジカルアセスメントの視点と支援
- 3) 連携の基本と要点
- 4) 緊急時における初動対応と連携の要点

No.12 介護と看護の連携・協働

講師：看護師・介護福祉士

A日程： 11月12日（金）13時30分～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター6F

B日程：令和4年2月16日（水）13時30分～16時30分 気仙沼市市民会館第1会議室

①形式：講義・演習（グループワーク）（3時間）途中休憩あり

②めあて：高齢者において、複数の疾病を持ち合わせているケースも多く、看護と介護の連携は必要不可欠な状況である。本研修は、介護と看護それぞれの役割の違いを理解しつつ、利用者が安心して自立した日常生活を継続できるよう、事例を通し連携の基礎的理解を踏まえて協働できることを目的とする。

③主な内容

- 1) 連携と協働の意義・目的～求められる背景の理解
- 2) 施設における介護と看護連携（事例検討）
- 3) 在宅における介護と看護等連携（事例検討）
- 4) 看護師と介護職の意見交換と今後の在り方（グループワーク及びまとめ）

No.13 支援別介護技術～高次脳機能障害の理解と関わり方～

講師：宮城県言語聴覚士会 会長 遠藤 佳子 氏

A日程： 10月 5日（火）10時～16時（5時間）仙台市市民活動サポートセンター6F

オンラインは全2日間の2回続きの研修となります。

11月 24日（水）13時30分～16時（2時間30分）

12月 7日（火）13時30分～16時（2時間30分）

①形式：講義・演習（5時間）昼食休憩のほか途中休憩あり

②めあて：高次脳機能障害とは、大脳が損傷を受けて生じた認知機能障害の総称であり、高次脳機能障害という一つの障害があるのではない。本研修は、失語、失行をはじめとする様々な障害の中から、主な4つの病態を解説し支援の視点を学び、適切な介護実践に結びつけられることを目的とする。

③主な内容 高次脳機能障害の理解と支援

- 1) 高次脳機能障害の基礎的理解
- 2) 注意障害の理解と支援の視点
- 3) 遂行機能障害の理解と支援の視点
- 4) 記憶障害の理解と支援の視点
- 5) 失語症の理解と支援の視点

No.14 介護過程の展開Ⅱ-①②

講師：宮城県介護福祉士会

本研修は、全2日間、2回続きの研修です。

会 場：仙台市市民活動サポートセンター6階

1日目： 10月 22日（金）10時～16時30分（5時間30分）

2日目： 11月 5日（金）10時～16時30分（5時間30分）

①形式：講義・演習（合計 11 時間）昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：本研修は、介護過程の展開の基本を踏まえて、中堅職員及びリーダーとして必要な具体的介護実践に結びつけるために、事例検討を中心としたアセスメントと個別援助計画作成、実践を通しての評価と再アセスメントを学び、利用者の立場に立った自立支援を行えることを目的とする。

③主な内容

1 日目：生活支援の理解と実際①（講義・演習）

- 1) 紙上事例から学ぶアセスメントの基本
- 2) 紙上事例による個別援助計画作成

2 日目：生活支援の理解と実際②（講義・演習）

- 1) 実践事例での評価
- 2) 実践事例での再アセスメント
- 3) 生活支援とチームアプローチのまとめ

No.15 レクリエーションの位置づけと展開～ケアプラン反映の基礎的理解～

講師：宮城県介護福祉士会

A 日程： 10 月 26 日（火）10 時～16 時（5 時間）

仙台市市民活動サポートセンター6 階

①形式：講義・演習 昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：令和 3 年度報酬改定において、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進し、介護サービスの質の向上を図る観点から、LIFE（科学的介護情報システム）の運用が全サービスで始まった。本研修は、通所介護等におけるレクリエーションがケアプランに位置づけられている場合、利用者の日常生活を自立に向けて連動し実践を行えることが必要であることから、個別援助計画への適切な反映と実践を結びつけられることを目的とする。

③主な内容

- 1) レクリエーションの意義・目的
- 2) ケアプランと個別援助計画の理解
- 3) LIFE（科学的介護情報システム）と介護実践
- 4) レクリエーションの個別援助計画での展開

No.16 事例から学ぶ認知症ケアの実際

講師：宮城県介護福祉士会

A 日程： 11 月 19 日（金）10 時～16 時 仙台市市民活動サポートセンター 6F

①形式：講義・演習（グループワーク）昼食休憩の他途中休憩あり

②めあて：基礎的理解を踏まえて、実践事例を通し、パーソンセンタードケアの視点から認知

症ケアを学び、尊厳ある介護実践に繋げていける知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、症状の特徴を踏まえた上で、個別性を理解できるように具体的なアセスメントの要点を整理していく。

③主な内容

- 1) 認知症ケアとパーソンセンタードケア
- 2) 認知症ケアの実際と尊厳ある介護
- 3) ケアの留意点とチームアプローチ

No.17 新人職員育成のための講座

A日程：令和4年2月15日（火）13時30分～16時30分

仙台市市民活動サポートセンター6F（予定）

①形式：講義・演習（グループワーク）3時間 途中休憩あり

②めあて：身近な先輩としての在り方や新人職員への関わり方など、先輩職員として基本となる知識と技術を身につけ、新人職員と共にやりがいと魅力ある介護実践に繋がられることを目的とする。

③主な内容

- 1) エルダー制度の活用と人材育成
- 2) 伝えること・導くこと
- 3) 新人職員の支援と職場づくりのポイント

No.18 指導者のための介護技術

講師：宮城県理学療法士会

A日程：12月4日（土）13時30分～16時30分

仙台医療秘書福祉専門学校 2階介護実習室（予定）

①形式：講義・演習 対面研修3時間 途中休憩あり

②めあて：中堅職員としてケアチームを率いる上での介護技術指導方法のための知識・技術を身につける。新人職員等への介護技術指導の要点を理解することを目的とする。

③主な内容

- 1) 介護技術と指導者の基本
- 2) 介護技術指導の実際

No.19 リーダーのための指導術～コミュニケーション技術と相互理解～

講師：東京工芸大学 教授 大島 武 氏

A日程：令和4年1月19日（水）10時～16時30分

仙台市市民活動サポートセンター（予定）

①形式：講義・演習（グループワーク）5時間30分 昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：チームアプローチをする上で、メンバー同士の意思の疎通を図ることは大事な要素である。伝えつつも、聞いたつもりの認識の誤差が結果として現れることも留意

しなくてはならない。本研修では、リーダーとして必要なコミュニケーション技術を身につけるとともに、目標達成のためのチームづくりの要点を学んでいく。

③主な内容

- 1) 研修ガイダンスと基調講義
- 2) 演習 自己実現と他者理解
- 3) 介護リーダーのためのNG3箇条作成
- 4) 演習「イメージ交換ゲーム」
- 5) グループワーク・発表（まとめ）

No.20 セーフティマネジメント

講師：宮城県介護福祉士 会長 雫石 理枝 氏

A日程： 12月 14日（火）13時30分～17時 仙台市市民活動サポートセンター6F

オンライン： 2月 10日（木）13時30分～16時30分（3時間）

①形式：講義・演習（グループワーク）3時間30分 途中休憩あり

②めあて：令和3年度に介護保険施設における事故発生の防止と発生時の適切な対応を推進する観点から、リスクマネジメントの強化がなされ基準が示された。本研修は、利用者の自己実現と安全の確保について学び、ヒヤリハットから重大事故防止をするための職場環境づくりを目的とする。

③主な内容

- 1) セーフティマネジメントの基礎的理解
- 2) 利用者支援とリスクマネジメント
- 3) 事例から学ぶ介護現場における安全確保と支援

No.21 職場環境とメンタルヘルス

A日程：令和4年2月 21日（月）10時～15時30分

仙台市市民活動サポートセンター（予定）

①形式：講義・演習（グループワーク）対面研修4時間30分 昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：対人援助職としての介護職員は、倫理的介護実践を求められるが、あるべき姿と実際に差が生じ、苦しみ葛藤する場面がある。さらに、従事する上でチームアプローチを実践する上で人間関係が課題とされる。本研修では、ストレスの基礎的理解をしていくと同時に、セルフケア、ストレスマネジメントについての知識・技術を身につけ、やりがいや充実の中で自己実現をし、より良い職場環境を整えられることを目的とする。

③主な内容

- 1) ストレスの理解と介護の職場
- 2) バーンアウトとセルフケア
- 3) 職場環境とストレスマネジメント

No.22 訪問介護・サービス提供責任者Ⅰ 初任者研修

講師：宮城県介護福祉士 会長 雫石 理枝 氏ほか

A 日程：10 月 12 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分 仙台市市民活動サポートセンター 6F

①形式：講義 対面研修 3 時間 途中休憩あり

②めあて：サービス提供責任者として必要な関係法令及び責務と業務を理解し、サービス提供責任者としての実務を担えること目的とする。

③主な内容

- 1) 訪問介護の意義・目的
- 2) 訪問介護における自立支援～制度の基礎的理解～
- 3) サービス提供責任者の責務と業務

No.23 訪問介護・サービス提供責任者初任者研修Ⅱ-①訪問介護計画の作成

A 日程：令和 4 年 1 月 18 日（火）10 時～16 時（5 時間）

仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナールーム（予定）

①形式：講義・演習 対面研修 昼休憩のほか途中休憩あり

②めあて：サービス提供責任者として、訪問介護計画作成に必要な基礎的理解を踏まえ、計画作成の要点や自立支援に向けた計画立案のための知識・技術を身につけることを目的とする。

③主な内容

- 1) 制度の理解と訪問介護計画作成の基本
- 2) 演習 訪問介護計画作成（紙上事例）

No.24 訪問介護・サービス提供責任者初任者研修Ⅱ-②

A 日程：令和 4 年 1 月 27 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分（3 時間）

仙台市市民活動サポートセンター 6F（予定）

①形式：講義・演習 対面研修 途中休憩あり

②めあて：サービス提供責任者初任者研修Ⅱ-①訪問介護計画の作成を踏まえての連続研修。ケアプランから訪問介護計画への展開、評価と介護支援専門員との連携ポイントなど計画実践から評価・連携の基本を身につけることを目的とする。

③主な内容

- 1) ケアプランから訪問介護計画への展開
- 2) 計画評価と連携・協働

No.25 訪問介護・サービス提供責任者初任者研修Ⅲ 感染対策

講師：宮城県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 松浦 千春 氏

A 日程：10 月 12 日（火）10 時～12 時 30 分 仙台市市民活動サポートセンター 6F

①形式：講義・演習 対面研修 途中休憩あり

②めあて：利用者・家族やホームヘルパーを感染リスクから守り、安心した生活を継続するために、在宅における感染症対策のための基礎的理解と実践のための知識・技術を身につけることを目的とする。

③主な内容

- 1) 感染症の理解と基本
- 2) 事例から学ぶ感染症対応
- 3) 実技：手洗い、個人防護用具の着脱方法

会場所在地 ※直接会場へのお問合せはご遠慮ください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ・仙台市市民活動サポートセンター | 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3 |
| ・仙台市市民会館 | 仙台市青葉区榴ヶ岡公園 4-1 |
| ・栗原市市民活動支援センター | 栗原市築館伊豆 2 丁目 6-1 |
| ・大河原町駅前コミュニティセンター オーガ | 大河原町字新町 19 番地 |
| ・気仙沼市市民会館 | 気仙沼市笹が陣 4-2 |
| ・気仙沼中央公民館 | 気仙沼市魚市場前 1-1 |
| ・石巻市 ビッグバン | 石巻市成田字小塚裏畑 5 4 番地 |
| ・特別養護老人ホーム第二日就苑 | 亘理町逢隈鹿島字北鹿島 4 0 6 - 1 |